

# marie claire

marieclairejapon.com

26th January, 2023  
No.169

## New You

新しい年、新しい自分



Margot Robbie

本サービスを利用した営利目的の活動行為、  
あるいは本サービスを通じて入手した情報を  
複製、販売、出版その他  
私的利用の範囲を超えて使用する行為の  
一切を禁止します。



## Welcome to marie claire vol.169

55

蟹座cancer 6月22日→7月22日 ★自分を愛する時。自分の魅力は、弱点や欠点から学んで生まれます。そこを隠すことなくオープンにするからこそ、必要な人の出会いやチャンスはやってきます。

### 職

人という言葉から、私たちはどんなことをイメージするでしょうか?

広辞苑で調べてみると、職人とは①手先の技術によって物を製作することを職業とする人のこと。大工、左官、指物師などを指す、とあります。また②中世の手工業組織であるギルド・座などで、親方の下で生産に従事する雇人、ともあります。

和英辞典で調べてみると、職人とは英語でcraftsman、artisan、workerという呼び方で表現されるとありました。

ラグジュアリーブランド業界でも最近とみに職人という言葉が使われています。また、このコラムでも何度か書かせていただいているのですが、ブランドがブランドたりうる必須条件の中に、歴史、物語、高品質の素材、そして「artisan work」、つまり高い職人技が含まれています。

昨年11月22日から27日の期間、京都の「京都市京セラ美術館」で「エルメス」の展覧会が開かれました。展覧会のタイトルは「エルメス・イン・ザ・メイキング」。「エルメス」のクラフトマンシップに宿る創造と革新に触れてもらおうという意図で企画され、2021年コペンハーゲンを皮切りに、世界各都市を巡回している展覧会です。

京都が選ばれたのは、この地が日本の伝統的な技術を伝承し続けてきた、職人たちが数多く生きる街で、過去から現在、そして未来へと継承されるモノづくりの街でもあるからです。

「エルメス・イン・ザ・メイキング」展では、展示スペースが「クラフトマンシップの伝統と文化」、「すばらしき素材」、「モノづくりの地に宿る力」、「『時』はエルメスの友」と4つの空間に分かれていて、「エルメス」の歴史と日常をつないでいます。

「エルメス」の職人たちが人々に長く愛されてきたオブジェを丁寧に作っていく様子や、世代を超えて愛用されるように、長年使われたバッグが手入れ・修理される様子も紹介されました。またスカーフの絵柄のための精巧なシルクスクリーン製版の作業や、多くの工程を経て革手袋が作られる様子、純白の磁器に緻密な作業で絵を描いていく様子、気の遠くなるような忍耐力でプレスレットにダイヤモンドをはめ込む作業など、日ごろはなかなか目にできないプロセスを間近で見ることができました。純白のガウンを着て、わき目も振らず、作業に没頭する職人の姿は、「artisan worker」という言葉がぴったりでした。

この展覧会のために「エルメス」の様々な製造部門の職人たちが、愛用の道具、素材、そして専門知識を携えて来日し、その技術の一端を我々に開示してくれていたのです。

内覧会にはフランスから「エルメス・インターナショナル」のオリヴィエ・フルニエ エグゼクティブ・バイス・プレジデントが来日。我々取材陣に、今回の展覧会の趣旨、目的などを説明してくれたのですが、そこでなるほどと思った職人につまつわる話を伝えたいと思います。

「エルメス」の全従業員数は約18,000人。そのうち職人は約6,000人、なんと約3分の1が職人なのです。そして今回のように海外で展覧会が開催されるときは、一般職には飛行機のエコノミー席がわりあでられます。職人はビジネスクラスで移動するのだそうです。

つまりいかに職人たちを大事にしているかということが、このエピソードからだけでもわかるといふものです。

「エルメス」が、いかに長く人々から支持され、その名声と価値を維持しながら、さらに高みを目指しているブランドであるか、その真髄を見た思いがしました。また展覧会で実際に働くその姿を見ることで、彼らの矜持、プライドもひしひしと感じられました。実際の作業を見せるというイベントで、職人たちはさらに腕を上げ、仕事に誇りを持つことになるのだろうと想像できました。彼らはただ高い技術を持っているだけではなく、アーティスティックな部分でも非常に優れた能力を持っています。そんな職人たちが作り上げるからこそ、高い品質の、アート作品のような商品が生まれてくるのだということを改めて実感しました。

日本では、特に伝統工芸の世界では後継者不足が大きな問題になっています。もちろんフランスでも同様のことが出ています。またこれからの時代はAIが職人に取って代わるのではないかとも言われたりしています。しかしフランスのラグジュアリーファッション産業は国の経済の重要な部分を占めているので、何とか職人の持つ技術やアーティスティックな部分を継承していくために、いろいろな手を打ち始めています。職人を育てる学校の設立や、雇用の確保、雇用形態の改善などがそれです。「エルメス」はその先頭を走る企業の一つだと改めて思はされた展覧会でした。

2023年1月26日

田居克人  
Katsuto Tai, marie claire 編集長



手袋はまず素材となる革を型に沿って裁断するところから始まる



エルメスのルーツともいえる鞄と、製作過程の各部分の展示も

2023春にフランスのルーヴェに新しくオープン予定の革製品のアトリエ模様

「エルメス」が、いかに長く人々から支持され、その名声と価値を維持しながら、さらに高

みを目指しているブランドであるか、その真髄を見た思いがしました。また展覧会で実際に働くその姿を見ることで、彼らの矜持、プライドもひしひしと感じられました。実際の作業を見せるというイベントで、職人たちはさらに腕を上げ、仕事に誇りを持つことになるのだろうと想像できました。彼らはただ高い技術を持っているだけではなく、アーティスティックな部分でも非常に優れた能力を持っています。そんな職人たちが作り上げるからこそ、高い品質の、アート作品のような商品が生まれてくるのだということを改めて実感しました。

日本では、特に伝統工芸の世界では後継者不足が大きな問題になっています。もちろんフランスでも同様のことが出ています。またこれからの時代はAIが職人に取って代わるのではないかとも言われたりしています。しかしフランスのラグジュアリーファッション産業は国の経済の重要な部分を占めているので、何とか職人の持つ技術やアーティスティックな部分を継承していくために、いろいろな手を打ち始めています。職人を育てる学校の設立や、雇用の確保、雇用形態の改善などがそれです。「エルメス」はその先頭を走る企業の一つだと改めて思はされた展覧会でした。

2023年1月26日

## Contents

- 4 Style Picks: Pale Mood /
- 5 Welcome to marie claire /
- 6 Cover Story: Margot Robbie /
- 8 HARRY WINSTON /
- 9 GUERLAIN /
- 10 Wellendorff /
- 11 Chocolate: Heartwarming Valentine /
- 12 CHRISTIAN DIOR DESIGNER OF DREAMS /
- 14 Osaka MIDORI LIFE: Umekita 2nd Project /
- 15 News: event / special lecture, shop list

### cover

photo: ©Josh Telles/AUGUST/amanaimages

## marie claire

2023年1月26日発行 第12巻第1号(通巻169号)

発行/Publisher:

安部順一 Junichi Abe

編集長/Editor in Chief:

田居克人 Katsuto Tai

副編集長/Deputy Editor in Chief:

高橋直彦 Naohiko Takahashi

アートディレクター/Art Director:

木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス・スマートリット Business Specialist:

齊賀明宏 Akihiro Saiga

編集部 Editorial Team:

部長 Manager:

横山恵子 Keiko Yokoyama

大林理子 Riko Obayashi

高波麻奈美 Manami Takanami

菊池美裕紀 Miyuki Kikuchi

阿部未侑加 Miyuka Abe

マルチンバヤル・ホスツェヴェグ

Malchinbayar Khotsogtseg

パリ特派員 Paris Correspondent:

須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:

木村裕治 Yuji Kimura

佐藤幹 Miki Sato

発行 Publication:

読売新聞東京本社

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

tel: 03-6739-6303

THE YOMIURI SHIMBUN

記事制作 Production:

中央公論新社

〒100-8152 東京都千代田区大手町1-7-1

tel: 03-5299-1810

CHUOKORON-SHINSHA, INC.

印刷 Printing:

共同印刷

KYODO PRINTING CO., LTD

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive director:

Jean de Boisseloff

Deputy director:

Félix Driessart

Deputy director (marketing and special operations):

Nicola Rodwell

International editorial director:

Séverine Harzo

International fashion and beauty chief editor:

Sylvie Halic

International commercial director:

Elodie Bretaudau Fonteilles

International deputy commercial director:

Elisabeth Barbier

Syndication director:

Thierry Lamarre

©MARIE CLAIRE ALBUM 2023

©THE YOMIURI SHIMBUN 2023

本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

※本紙に掲載されている商品の価格は

特記されている場合を除き、すべて税込みです。

II 双子座Gemini 4月20日→6月21日 ★自由になる時。自分の軸から少し離れた選択や行動をしてみましょう。生産性がなくても、興味があるその気持ちを大切にして、好きな世界観にトリップしてみて。不安な気持ちが出てきても大丈夫。すべてはうまくいくことがあります。

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

5



昨年12月に開催された『バビロン』のワールドプレミアに出席したマーゴット・ロビー。「アライア」の2023年春夏コレクションの大膽な黒のラップドレス姿で登場 ©2022 Paramount Pictures. All Rights Reserved.

# Margot Robbie

体当たりの演技でトップ女優への階段を駆け上がる  
マーゴット・ロビー

Cover Story

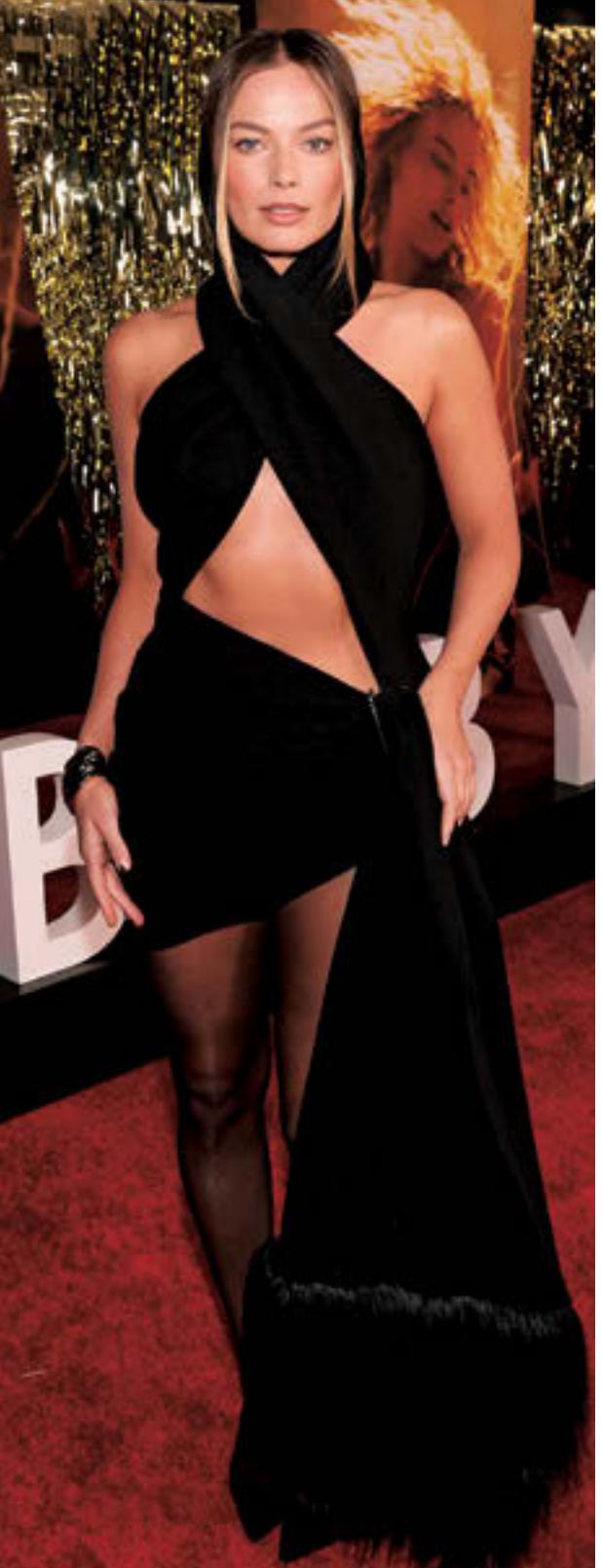
text: Tomoko Kawakami

オーストラリアのテレビドラマでデビューして以来、着実にキャリアを積んできた女優、マーゴット・ロビー。

2017年には『アイ、トーニヤ 史上最大のスキャンダル』で第90回アカデミー賞主演女優賞候補に。

そんな実力派のマーゴットが出演する最新作『バビロン』は、第80回ゴールデングローブ賞5部門にノミネートされ、作曲賞を受賞した。

ハリウッド黄金時代の狂乱と堕落を描いた話題作について、マーゴット・ロビーが自身の熱い思いを語った。



乙女座virgo 8月23日→9月22日 ★素晴らしいものが返ってくる時。相手に対して期待や要求を抱きがちですが、そんな自分に気づいたら、愛することに意識を向けましょう。疲れたたら力を抜きながらコソコソと。ひらめきは形になります。

舞

台は1920年代、黄金期のハリウッド。サイレント映画から、トーキー映画へと移り変わる激動の時代を描いた話題の映画『バビロン』が2月に公開される。監督を務めるのは、『ラ・ラ・ランド』(2016年)で第89回アカデミー賞にて監督賞など6部門を受賞したディミアン・チャゼルだ。15年にも及ぶリサーチと世界観の構築の末に生まれた『バビロン』で脚本の執筆も手がけたチャゼル。物語に命を吹き込むために最初にキャスティングしたのが、劇中で力強いオーラを放つショービジネス界で成功を夢見る無名の女優、ネリー・ラロイの役を演じる、マーゴット・ロビーだった。初めて脚本を読んだとき、これまでにないほど衝撃を受けたというマーゴットは「ネリーは絶対に、私が演じたいと思った」と語っている。

現在、ハリウッドで最もギャラが高い女優と言われているマーゴット・ロビーはオーストラリア・ゴールドコーストで生まれ育った32歳。大学卒業後、女優デビューを果たし、オーストラリアのテレビドラマに出演して人気者に。その後、マーティン・スコセッシ監督の映画『ウルフ・オブ・ウォールストリート』(13年)で主演のレオナルド・ディカプリオの相手役に抜擢され、若手注目女優の仲間入りを果たした。さらにコミックスが原作の大ヒット映画『スーサイド・スクワッド』(16年)のハーレイ・クイン役で世界的にブレイクする。その際立つ存在感で、ファッショニスタからもラブコールが絶えないマーゴットは、「シャネル」のアンバサダーも務めている。そんな彼女が「ネリーの役は私のもの!」と力説した最新作『バビロン』は、彼女にとっても特別な作品になったようだ。

「この作品は、これまで誰も試みなかつた方法で、映画史の本当の変遷を描いている。誰もこんな形で当時のハリウッドを切り取った人はいなかった。私自身も、リサーチをして本当に驚いたわ。だって20年代はもっときちんとしていて、皆でチャールストンを踊っていて……というイメージだったし、スクリーンではそうやって描かれてきたのだから。でも実際は、とても破天荒で放蕩的な時代だった。まさにワイルド! こんなこと許されるの?って思うようなものがスクリーンに映し出される。現代の映画界なら、到底無理よ。あんなことはできないわ!」

そのマーゴットが言う「ワイルド」な時

代のハリウッドで成功するために、脇目もふらず猛烈な勢いで突進していく女優志望のネリー。そのキャラクターは、数多のサイレント映画スターたちが着想源となっているが、中でもマーゴットはクララ・ボウという名の女優の人生がネリーのイメージと重なった、と振り返っている。

「クララは、貧しい境遇で受けたトラウマや虐待など、ひどい子ども時代を過ごした人。彼女の両親は、クララが生きながらえるとは予想していなかったので、出生証明書すら取得していなかった。そんな事実を知ったとき、ネリーというキャラクターが理解できた気がしたの。ネリーは、この地球で過ごす日々は、いつ終わってもおかしくないと感じていたから、毎日、全力で立ち向かっていたのだ」と

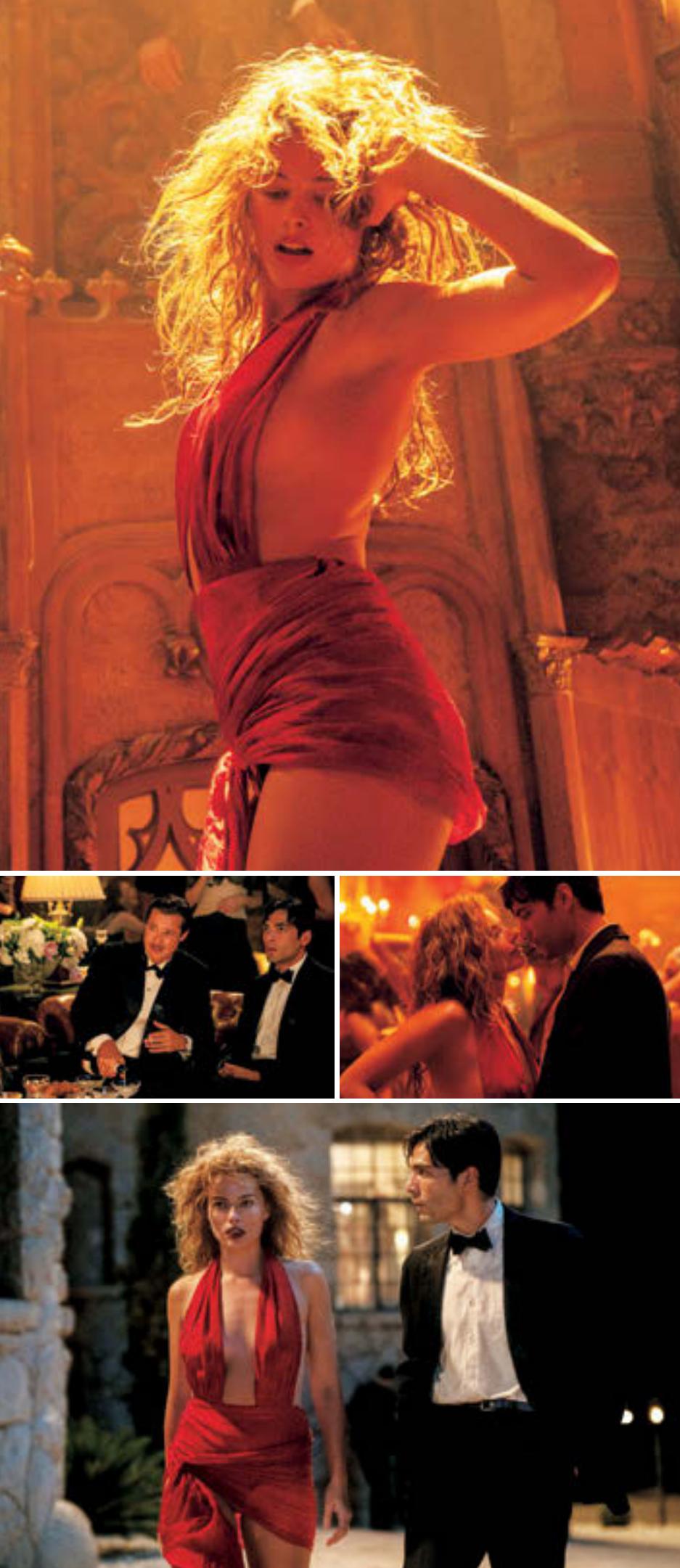
ハリウッドの狂乱の日々を疾風のごとく駆け抜けたネリーを演じるのにはパワーが必要だったとも彼女は言う。

「この作品においての最大の挑戦は、ネリーであるためのスタミナを維持することだった。彼女を演じることはとても疲れるけど、やり切れると思ったわ。1日20時間働き、すべてのシーンで即興を要求する監督との仕事も経験済みよ。あらゆる仕事をしてきたし、私はこの仕事が大好きだから、弱音を吐くことはない。そんな私でさえ、ネリーは今まで一番、難しいキャラクターだった。だからこそ、出演した価値もあったし、私の生涯、そして経歷の中で最も誇りに思える仕事になったんじゃないかいしら? チャゼル監督は自由に演じさせてくれた。それはネリー役だったからかもしれないけど、初めて本当の意味でアクセルを開けるチャンスを与えてくれたことに感謝してるわ」

この作品では、『ワニス・アポン・ア・ターム・イン・ハリウッド』(19年)以来となるブラッド・ピットとの共演も話題を呼んでいる。

「私はブラッドの大ファン。彼はすべてにおいて特別で、この作品でも異彩を放っている。実生活でも映画スターのブラッドが劇中でもそれを演じる。俳優が俳優を演じる舞台裏を覗けたのは、とても素晴らしい経験だったわね」

今後もバービー人形の実写版映画『Barbie』や『オーシャンズ11』シリーズの最新作など、話題作への出演が目白押しのマーゴットから目が離せない。



『バビロン』

2023年2月10日(金)公開  
監督・脚本: ディミアン・チャゼル  
出演: ブラッド・ピット、マーゴット・ロビー、ディエゴ・カルバホ  
配給: 東和ビューチャーズ  
公式サイト: babylon-movie.jp  
©2022 Paramount Pictures. All Rights Reserved.



李洪波のアートピースとのセットは世界15個限定(¥880,000)



「オーキデ アンペリアル ブラック クリーム (リミテッド エディション)」  
50mL [李洪波サイン付き、世界1000個限定]  
¥193,600 / ゲラン

1828年フランスで創業したゲランと、  
1863年フランス・リモージュで  
創業のベルナルド。  
5代続くそれぞれのメゾンが伝統と  
革新を追求し、  
現代アーティスト李洪波との  
夢のコラボが実現。



# GUERLAIN

仏老舗磁器メーカー・ベルナルドと現代美術アーティスト李洪波とのコラボ。  
「オーキデ アンペリアル ブラック」から  
究極のアートピースが誕生!

photos: ©GUERLAIN / text: Keiko Suyama

ゲランのスキンケアラインの中でも最高峰に位置する「オーキデ アンペリアル ブラック」は、ゲラン独自の蘭の研究機関「オーキダリウム」で15年以上に及ぶ研究により2016年に誕生した。その鍵を握るのは3万種の蘭の中から厳選された「ブラック オーキッド」という南米ペルーのアンデス山脈に原生する希少な固有種で、ほぼ日光がなく高温多湿の過酷な環境の中で育ち、黒檀の木のような美しい色を放つ野生の蘭だ。一年に2週間しか花を咲かせず、1本の茎に雄花と雌花を同時に開くという特徴のブラック オーキッドは、環境に対する繊細さと優れた適応能力、並外れた免疫力と高い生命力を持っている。このブラック オーキッドの力をブラック イミューン™テクノロジーに封じ込めた「オーキデ アンペリアル ブラック」は、エイジングのサインに働きかけ、肌に湧き上がるような若々しさをもたらす。肌の底力を高め、描るぎない美しさに導いてくれるのだ。

この最も高機能なスキンケアラインは、その中身だけでなく、パッケージにも真のラグジュアリーを追求。美しい漆黒のジャーは、リモージュで19世紀に創業の老舗磁器メーカー・ベルナルドが手掛けた。かのナボレオンを始め、ヨーロッパの宮廷で愛用されたベルナルドは、現在でもレストランや食卓に美しい作品を提供し、「オーキデ アンペリアル ブラック」の

ジャー制作をすべて担当する。今回のコラボレーションでは「オーキデ アンペリアル ブラック クリーム」のジャーに24金の金箔を用いた花模様を描き、1つに1ヶ月の時間をかけ、50人の職人が関わり作られる。

さらにこのクリームを芸術へと昇華させたのが、中国人アーティスト李洪波(Li Hongbo)だ。世界的に知られる現代美術アーティストの李の作品は、中国の民芸品である「紙でんぐり」からヒントを得て、紙を丹念に切り、それを重ね合わせ、まるでだまし絵のように形が変形する彫刻アートとして注目されている。今回は白い紙を何千枚も蜂の巣状に重ね、糊で固め、彫刻機で輪郭を磨き、小さな彫刻刀で細部を丁寧に仕上げ、完成に1、2ヶ月を要した。自在に変形する紙の特徴を生かし、まるでアコーディオンのように彫刻が伸び縮みするアート作品が自宅でも楽しめるのだ。

ベルナルドによる24金の金箔が施されたジャーと、李洪波のアートピースを含めたセットはシリアルナンバー付きで世界15点限定で発売中。まさに芸術を秘めた装いのスキンケア、「オーキデ アンペリアル ブラック」。伝統工芸とアート、スキンケアが融合するゲランだからこそできる真のラグジュアリーの世界をぜひ体験してみてほしい。



「オーキデ アンペリアル ブラック トリロジー コフレ」  
[左からオーキデ アンペリアル ブラック セロム 30ml、  
同 クリーム 50mL、同 アイ&リップ 20mL、李洪波サイン付き、  
世界500個限定] ¥469,700 / ゲラン

蠍座scorpio 10月23日～11月21日 ★ 自分の心に従う時。何かを始める時、今の喜びから一歩を踏み出すために、どんな自分で日々生活をしていくのが自分と打ち合わせをする時間を作りましょう。心がスッキリ整います。



1.繊細な筆で24金を丁寧に着色するのは、芸術文化勲章を受章したベルナルドの元名工。2.李洪波が描いた蘭の下絵。3.李のアートピースのセット版はシリアルナンバー入りで世界15個限定。李氏のサイン付き。4.あっと驚くアートを創り出す。今世界が注目する中国人アーティスト李洪波。5.彫刻刀で細部を丁寧に仕上げていく。6.できあがった彫刻作品はまるでアコーディオンのように伸び縮みする。



# HARRY WINSTON

ダイヤモンドとマザー・オブ・パールの美しき共演

新たな時を刻む「ハリー・ウインストン」のタイムピース

世界屈指のダイヤモンドジュエラーとして名を馳せる「ハリー・ウインストン」が、  
1989年に発表した初のタイムピースコレクション「HW プルミエール」。

登場以来、高い人気を誇るそのアイコニックなコレクションから、このほど最新作が誕生。

ダイヤモンドとマザー・オブ・パールの輝きが調和する優美なタイムピースで、新しい年の始まりをポジティブに彩って。

photos: ©HARRY WINSTON  
RG=ローズゴールド、WG=ホワイトゴールド



ホワイト・アリゲーターストラップのほかに、シンプルなゴールド製ブレスレット、348個のダイヤモンドをセットしたラグジュアリーなブレスレットのタイプも用意されている。時計「HW プルミエール・オートマティック 31mm」(左から) [RG×ホワイト・マザー・オブ・パール×ダイヤモンド、RG×ダイヤモンドブレスレット、ケース径31mm、自動巻き] ¥7,513,000 [RG×ホワイト・マザー・オブ・パール×ダイヤモンド、RG×ダイヤモンドブレスレット、ケース径31mm、自動巻き] ¥12,771,000 [WG×ブルー・マザー・オブ・パール×ダイヤモンド、WG×ダイヤモンドブレスレット、ケース径31mm、自動巻き] ¥7,953,000 [WG×ブルー・マザー・オブ・パール×ダイヤモンド、WG×ダイヤモンドブレスレット、ケース径31mm、自動巻き] ¥13,211,000 (すべてハリー・ウインストン/ハリー・ウインストン クライアントインフォメーション)

ジュエリー制作で培われた高度な技術や創造性を生かし、「ハリー・ウインストン」は時計製造においても傑出した製品を世に送り出してきた。「HW プルミエール」は、ブランド初のタイムピースコレクションのひとつとして1989年に誕生。コレクション名は、創始者のハリー・ウインストンが最初のビジネスとして1920年に設立した「プレミア・ダイヤモンド社」にちなんで名付けられた。ニューヨーク5番街に位置する「ハリー・ウインストン」本店のエントランスに着想を得た3つのアーチがラグにデザインされ、ケースには厳選されたダイヤモンドが贅沢にあしらわれているのが象徴的だ。ブランドのアイコンとして進化を続け、これまで独創性溢れる多彩なモデルを発表し続けてきた。

最新作の「HW プルミエール・オートマティック 31mm」は、マザー・オブ・パールの文字盤に、エンゲレービングの装飾技術によって放射状のラインが刻まれ、燐然と輝く太陽の光を思わせる美しい表情に目を奪われる。ローズゴールドのケースにホワイト・マザー・オブ・パール、ホワイトゴールドのケースにブルー・マザー・オブ・パールを組み合わせた2タイプが登場した。ブルーは「ハリー・ウインストン」と深いつながりのあるカラーでもある。創始者が「1945年獲得した45.52カラットの希少なブルー・ダイヤモンド」「ホープ・ダイヤモンド」を想起させるカラーとして、今回の新作にも深いブルーのマザー・オブ・パールが採用された。そしてダイヤルを埋め尽くす126個もの眩いダイヤモンドにも、「キング・オブ・ダイヤモンド」と称された創始者の軌跡への敬意が込められているという。中央にランダムに配されたスノーセッティングのダイヤモンドは、まるで星空のような印象を与え、遊び心をプラス。12時位置には、創始者が愛したエメラルドカットのダイヤモンドがあしらわれ、シンボリックな輝きを放つ。エレガントな佇まいの気品漂う新作タイムピース、ぜひ手に取ってその魅力を堪能してほしい。



上品なホワイトと神秘的なブルーのマザー・オブ・パール、そしてダイヤモンドが奏でる洗練されたコンビネーションに魅せられる最新作のタイムピース。ホワイト・アリゲーターストラップがクリーンな印象を引き立てて。パックルにも15個のダイヤモンドがセットされ、細部にまでこだわり抜いたデザイン。時計「HW プルミエール・オートマティック 31mm」(左から) [WG×ブルー・マザー・オブ・パール×ダイヤモンド、ホワイト・アリゲーターストラップ、ケース径31mm、自動巻き] ¥5,335,000 [RG×ホワイト・マザー・オブ・パール×ダイヤモンド、ホワイト・アリゲーターストラップ、ケース径31mm、自動巻き] ¥5,192,000 (ともにハリー・ウインストン/ハリー・ウインストン クライアントインフォメーション)

# Chocolate: Heartwarming Valentine

## 上質な甘さが心も満たす とておきのチョコレート

水瓶座 aquarius 1月20日→2月18日

★自分が望む感情を選ぶ時、どんな選択をするかはすべて自分で決められます。どんな感情も受け入れ許してあげましょう。自分が自分の味方であると、運の流れはますますよくなります。

よいバレンタインシーズン。2023年も国内外のチョコレートが続々登場しています。パリから届くオンライン限定プレミアムショコラや、有名ブランドやホテルの新作、サステナビリティに配慮した心までカラフルになるタブレットなど。トレンドやギフトにふさわしい高級感、そして「美味しい」は絶対はずさない!そんな品々を集めました。今だけの限定チョコレートを、気分やシーンに合わせて楽しんでみてはいかがでしょう。

市川歩美 Ayumi Ichikawa  
チョコレートジャーナリスト  
日本で唯一のチョコレートに特化したジャーナリスト、コディネーター。365日、日本国内やカカオ生産地をはじめ世界各地を取材し、最新のトレンドをメディアで発信する。チョコレート愛好家は約30年。



### GARGANTUA

チョコレート三昧。今しか味わえない!  
帝国ホテルの新作ケーキに注目

帝国ホテル 東京のホテルショコラ「ガルガンチュワ」で、ショコラと並んでおすすめのが新作ケーキ。「フランス語で“ブランベリー”を意味する“ミュール”をコンフィチュールに仕立て、チョコレートクリーム、カカオビスキュイとともにパイ生地で包み、モダンなミルフィユに。パイ生地を百層にも重ねることで、味わったことのないザクザクとした新食感に!」(市川さん)。ミルフィュ ミュール ¥1,800 [2/1~28期間限定] (帝国ホテルプラザ 東京 1階)



### PASCAL LE GAC

最高級の香りと味わい。  
新作3種を詰め込んだ限定コフレ

ショコラのプロや愛好家にも定評のある、パリの有名ショコラティエ、パスカル・ル・ガック。「人気の15個入りは、定番味に加え新作3種(レモン・ブープの香りの「マルヴェー」、バニラショコラと胡桃、生姜の「バニラショコラ」とスパイシー)、プランデーの芳醇な香りの「アルマニャック」)をセレクト。チョコレート色のボックスにかけられた黄色いリボンは、ブランドのアイコン」(市川さん)。限定コフレ 15個入り ¥5,400 (パスカル・ル・ガック東京)

チョコレートの甘さが恋しくなる季節。一粒で心温まる幸せを運んでくれる、味も見た目もお墨付きの逸品を、チョコレートジャーナリストの市川歩美さんが厳選。大切な人へ、自分へのご褒美に、とておきを見つけて味わいたい。



### CARAMEL et CACAO

注目ショコラティエが創りだす  
ショコラとキャラメルのマリアージュ

「フレショコラドゥ アッシュ」で長年続々シフを務めた若林繁氏が立ち上げたブランド「キャラメル エ カカオ」がデビュー。「名前のとおり、ボンボンショコラはすべてキャラメルとガナッシュの2層で表現。美味しいもろんショコラの美しさに見惚れます」(市川さん)。塩キャラメル×ブレーヌガナッシュを含む、西日本の素材を厳選したセレクションBO X。キャラメル エ カカオ WEST 4粒 ¥1,601 (キャラメル エ カカオ)



### IRODORI CHOCOLATE

2種類のフレーバーで仕上げた  
見た目も華やかなグラデーション

「途上国から『食』の可能性を世界に」を理念に、2021年にブランドをスタートした「トリルマザーハウス」で人気の「イロドリ チョコレート」は、日本の移りゆく四季を表現。「インドネシア産カカオを使ったホワイトチョコに、フルーツやお茶、スパイスなどの自然由来の素材で味付け。美しい色合いに心まで酔います」(市川さん)。ラズベリーと抹茶の旨味を桜の風味で包んだタブレット。桜花 ¥1,296 (トリルマザーハウス)



### WAKO

幸せの黄色いハートが可愛らしい  
大人好みのショコラ・フレ

伝統製法・レシピによって、一粒ずつハンドメイドされる。人気のショコラフレ(生ショコラ)。「5代目の小熊亮平シェフが手がけるジュエリーのようショコラフレの数々は、今回も目を見張る美味しい」(市川さん)。黄色いハートで愛と感謝を表現した新作「エスボワール」は、ホワイトチョコレートの甘みと柑橘の酸味が調和するガナッシュ。「スペシャリテ」10個入り¥4,536 [~2/14期間限定] (和光)



### SAISON DE SETSUKO

日本素材との巧みな組み合わせに感動  
国際賞受賞作を集めた限定ボックス

「一粒口に運ぶたび、和素材の組み合わせに驚かれます。着色料は不使用。味で彩るショコラです」(市川さん)。日本のハカと日向夏にマダガスカル産のカカオマスを合わせた「和薄荷と日向夏」や北海道産ゴーダチーズのガナッシュと十勝産豆のあんのガナッシュを重ねた「十勝豆あんごチーズ」など、大石茂之と精鋭の国際コンクール受賞作をセット。アワードボックス 9個入り¥4,320 [2/1発売] (セゾンドセソウ/メリーチョコレートカムバニー)



### MÅLÖ CHOKLADFABRIK

ショコラも多様性の時代。北欧発の  
ヴィーガンチョコレート

スウェーデンの港町、マルメの老舗チョコレートブランド「マルメ・ショコラファブリック」が日本に上陸。「100%オーガニックでグルテンフリー、ナッパレルギーの人も安心なナチュラル」です。1888年のブランド創業時から続くレシピで作られるショコレートバーはもちろん、フレーズドライのラズベリー味のショコレートが18粒入ったハート缶も、この時期にぴったり!(市川さん)。マルメハートボックス(缶) ¥1,944 (エス・インターナショナル)



### SÉBASTIEN GAUDARD

穏やかで、豊かなフレーバー。パリで人気の  
パティスリーブランドが日本上陸

パリの9区1区内に店舗を構えるフランスの有名パティシエ、セバスチャン・ゴダール、フランス菓子の伝統を継承しつつも、モダンで斬新なカトーネやショコラが魅力。今回、人気ショコラを集めたスペシャルボックスが、1ヶ月1,000箱限定でオンライン発売される。「ボンボンショコラは、まさにパリの味。人気の大きめサイズ(63個入り)は、ギフトにも最適です」(市川さん)。ボンボンショコラ 32個入り ¥14,200 [2/1~オンライン限定] (セバスチャン・ゴダール)



Christoph Wellendorff

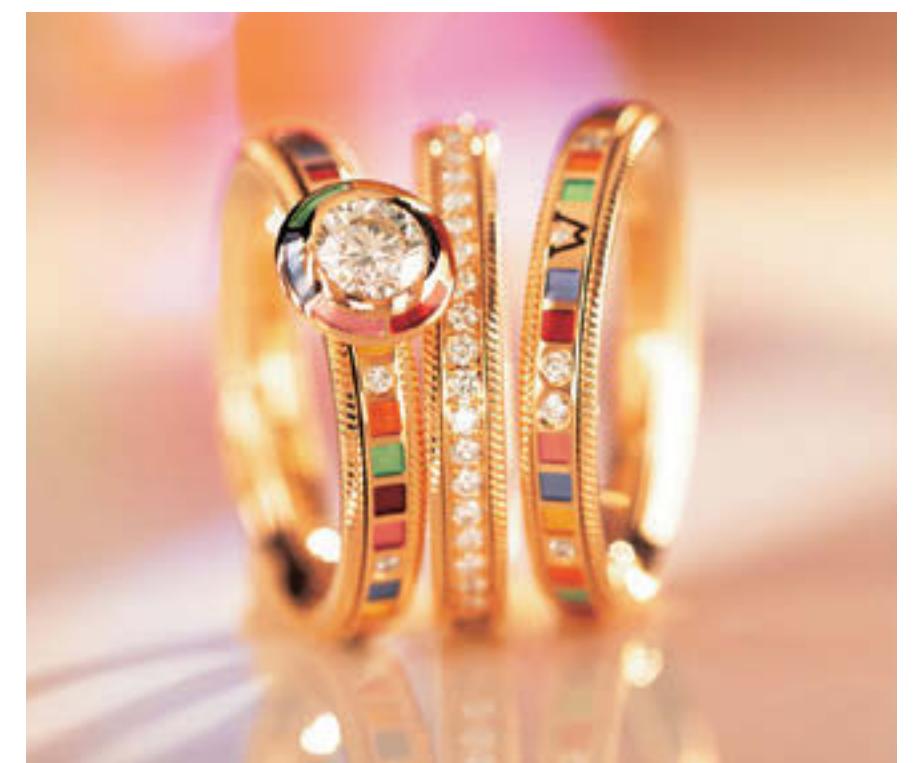
クリストフ・ウェレンドルフ  
Wellendorff Gold-Creations GmbH & Co. KG 代表取締役  
4代目社長。1961年生まれ。90年、シュツットガルト大学でMBA(経営学修士号)を修め、翌年、ウェレンドルフ入社。2002年より現職。弟のゲオルグとともにブランドを運営する。歯科医師の妻との間に子供が3人。趣味はピアノ演奏、スキーやビーチバレーなどのスポーツ、そしてワイン。

interview & text: Naohiko Takahashi  
YG=イエローゴールド、WG=ホワイトゴールド

# Wellendorff

## ドイツ発の「ウェレンドルフ」 人に寄り添う優美なジュエリーを

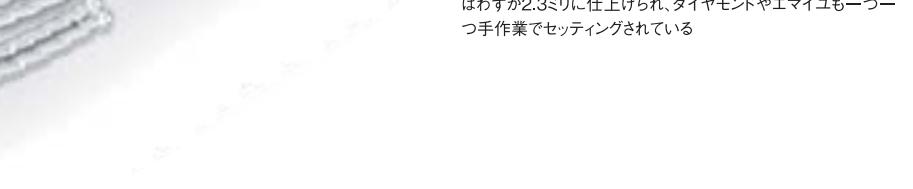
ドイツで1893年に創業した「ウェレンドルフ」。同国を代表するジュエリーマニュファクターとして、世界各地の王室や富裕層に支持され、日本にもファンが多い。ファミリービジネスによって、モットーとする「Wahre Werte(本物の価値)」を培ってきた。そのもの作りについて、来日したクリストフ・ウェレンドルフ社長に話を聞いた。



[写真上]「ウェレンドルフ」を代表するジュエリー、回るリングをカラフルな虹色で彩ったコレクション「GOLDEN RAINBOW」。輝くダイヤモンドと6色のエマユ(エナメル)が生み出す万華鏡のようなモザイク柄に魅せられる。リング(左から)「THANK YOU FOR GOLDEN RAINBOW」[YG×エマユ×ダイヤモンド(センターオ.50ct)] ¥4,950,000 「DIAMOND-JULIE」[Y/G×エマユ×エマユ×ダイヤモンド] ¥1,650,000 「GOLDEN RAINBOW, FINE」[G×エマユ×ダイヤモンド] ¥1,023,000 [すべてウェレンドルフ/ウェレンドルフ 東京ブティック]



[左]指に優しくフィットし軽やかに回るリングは、目に付くほどポジティブな気分に。重ねづけすることで、さらに豊かな表情が楽しめる



下地をきれいに磨き上げることで、エマユに光が反射し、クリスマスのような輝きを放つ。高度な職人技によって、モザイクの線はわずか2.3ミリに仕上げられ、ダイヤモンドやエマユも一つ一つ手作業でセッティングされている

山羊座 capricorn 12月22日→1月19日 ★心の変化がある時。現実は自分の内面を映し出す鏡です。心の一部が変化することで、その現実から抜け出し、望むような世界が目の前に。未来の自分にワクワクして過ごしましょう。

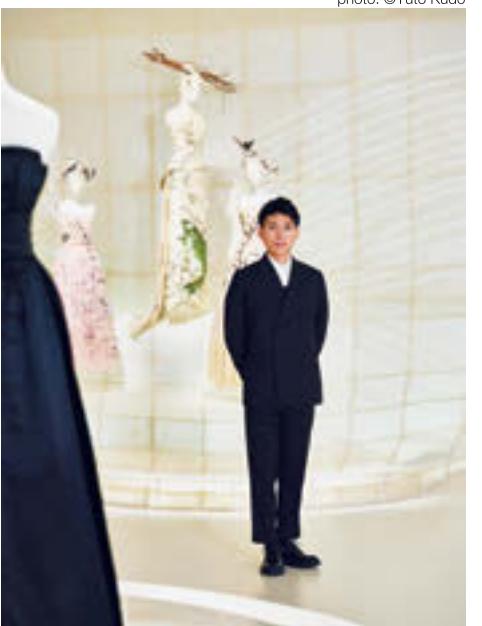


photo: ©Yuto Kudo

**空間デザイン: 重松象平(OMAパートナー)**

建築家。1973年福岡県生まれ。1998年より建築、都市計画、文化分析に参画する国際的な建築設計事務所OMAに所属し、2006年にニューヨーク事務所代表、2008年にパートナーに就任。アメリカ大陸およびアジアのプロジェクト多数をリーダーとして牽引している。

各地の特殊性と掛け合わせて再考した革新的な空間演出を手掛けたのは、国際的な建築設計事務所として知られるOMAのパートナーであり、ニューヨーク事務所の代表を務める建築家の重松象平だ。「パリを皮切りに、さまざまな都市の美術館で行ってきた空間デザインは、回顧展というフォーマットを各地の特殊性と掛け合わせながら再考し、展示会そのものを革新していく」という刺激的なコラボレーションの連続でした」と重松は語る。日本文化へのオマージュが表現された今回のデザインには、「ディオール」を象徴する構築的なドレスのシルエットや日本のランドスケープからの影響も見られる。さらに1階と地下2階をつなぐ吹き抜けの大空間では、夜会をテーマに、上階と下階双方からの視点を意識した壯観な演出が目玉だ。「展示室ごとに異なるストーリーが展開される中、舞台美術を意識してデザインしました。“未来を向いた”この回顧展が日本でどんな反応を得られるのか楽しみです」



「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」展示風景(2022年) 東京都現代美術館

photos: ©DAICI ANO

プロジェクションマッピングを投影した吹き抜けのアトリウムには、壮麗な舞踏会をイメージしたイブニングドレスを圧巻のスケールで展示  
photo: ©DAICI ANO



# CHRISTIAN DIOR DESIGNER OF DREAMS

## 「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」展へ 連載1: 世界巡回展がついに東京で開幕

東京都現代美術館で開催中の「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」展が話題を呼んでいる。パリを皮切りに、ロンドン、上海、ニューヨークなど、世界各地を巡回してきた壮大な回顧展。1,000点を超える貴重なアーカイブ作品とともに、「ディオール」と日本が育んできた深い絆を称える特別な展覧会の見どころを紹介。

text: Makiko Awata



photo: © Yuriko Takagi

**展覧会情報**  
CHRISTIAN DIOR: DESIGNER OF DREAMS  
「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」

会期: ~2023年5月28日(日)  
休館日: 月曜日  
開館時間: 10:00~18:00(展示室入場は閉館の30分前まで)  
会場: 東京都現代美術館(東京都江東区三好4-1-1)企画展示室 1F / B2F  
観覧料: 一般 ¥2,000 / 大学生・専門学校生・65歳以上 ¥1,300 / 中高生以下無料  
オンラインチケットは東京都現代美術館のチケットサイトにて購入可能 <https://www.e-tix.jp/mot/>  
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館  
特別協力: クリストファ・ディオール・クチュール  
DIOR.COM 特設ページ <https://bit.ly/3V8GZMI>



約1,000枚の「ディオール」のスカーフを使ったマダガスカル人アーティスト、ジョエル・アンドリアノメアリオの作品が色彩と呼応



帽子やジュエリー、シューズ、ミニチュアドレスなどを、虹のように色別に展示した遊び心あふれるインスタレーション



ギリシャからエジプト、インド、そして日本に至るまで、世界各国の文化にインスパイアされたクリエイションの旅がテーマの展示室



現代アーティストとのコラボなどで再解釈された希少なアイコンバッグ「レディ ディオール」が壁や天井を覆い尽くす

**創** 設者クリスチャン・ディオールの先駆的なビジョンから始まった75年もの創造の軌跡と、メゾンに影響を与えた日本文化へのオマージュを掲げ、フランス・ミュラーのキュレーションで再考された「クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ」展。会場はテーマ別に13の展示室で構成されている。1947年に発表しファッショントリumphに革命を起こした「ニュールック」を象徴する「バー」スースに始まり、ムッシュディオールの情熱を引き継いだイヴ・サン=ローラン、マルク・ボアン、

ジャン・フランコ・フェレ、ジョン・ガリアーノ、ラフ・シモンズ、マリア・グラツィア・キウリといった歴代のクリエイティブディレクターによるオートクチュールが一挙に展示され、メゾンの過去と現在を振り返るという壮大な内容だ。

最大の見どころのひとつは、メゾンと日本の特別な関係をひもとくセクションだ。日本に進出した初の西洋ファッションブランドとして、「ディオール」は1953年に鐘紡おより大丸と契約を結び、同年に帝国ホテルでファッションショーを開催。その当

時に発表された作品や、葛飾北斎の浮世絵をモチーフにしたジョン・ガリアーノによる作品、マリア・グラツィア・キウリ初の東京でのオートクチュールショーで披露した「ジャルダン・ジャボネ」ドレスなどにスポットライトが当てられた。両者の間で交わされた手紙やスケッチ、日本各地で行われたショーの資料など、初公開となる貴重なアーカイブ資料も必見だ。

会場の随所には、日本人写真家・高木由利子が本展のために撮り下ろした作品がちりばめられ、詩情豊かな日本の美

意識を表現している。各展示室のテーマに合わせて厳選された、東京都現代美術館所蔵の美術作品も注目だ。日本庭園をイメージした空間では、柴田あゆみによる藤の花の切り絵が天井を覆い尽くすなど、圧巻のインсталレーションにも目を奪われる。

「ディオール」のクリエイションに影響を与えた日本文化とその関係性をひととく本展。観るもの夢の世界へと誘う壯観な空間で、「ディオール」の伝統と歴史を感じたい。

# News: event / special lecture & exhibition

## JGP International Orchid and Flower Show 2023

東京ドームシティで堪能する、7日間限りの花の饗宴。

### 「世界らん展2023」開催

**満** 開の花々に彩られた「世界らん展」が今年も開催される。色鮮やかな蘭で作られた「オーキッドツリー」のゲートをくぐると、眼前に広がるのは美しい花々。日本大賞受賞花をはじめとするコンテスト入賞作品のほか、希少な蘭も展示され、初めて訪れる人も、愛好家も、それぞれに蘭の魅力が堪能できる展覧会だ。全国の生産者などが出店する「ボタニカルマーケット」には、蘭のほかにも多彩な植物や、花と緑をモチーフにした雑貨なども並び、ショッピングが楽しめる。今年も見どころ満載の「世界らん展」で、春の訪れを感じてみよう。

「世界らん展2023—花と緑の祭典—」  
会場: 東京ドームシティ プリズムホール(東京都文京区後楽1-3-61)  
開催期間: 2023年2月8日(水)~14日(火)

入場料金: ¥1,800  
※保護者同伴の小学生以下は無料

世界らん展公式ホームページ、美術展ナビケットアプリ、セブンチケットなど各種プレイガイドで発売中。  
お問い合わせ先: 東京ドームシティわくわくダイヤル 03-5800-9999 <https://www.event-td.com/orchid/2023/>



## L'ÉCOLE

ジュエリーと宝飾芸術の学校「レコール」が日本で特別講座を開催



### 1 「ジュエリーの芸術史」

古代から現代までのジュエリーの変遷を、歴史と美術の両面から探る。講義は全7コース。



### 2 「原石の世界」

最も貴重な石の識別方法、評価方法など、観察や実験を通して、宝石の魅力に没する。講義は全5コース。



### 3 「サヴォアフェール」(匠の技)

グワッシュ画から模型製作、宝石のセッティングから日本の漆芸など、多彩で豊かな職人技を体験。講義は全6コース。



### 次世代向けのワークショップやインタラクティブトークも

ジュエリー文化の継承を使命とする「レコール」の精神に基づいた、若い世代に向むけたワークショップでは、「王冠と剣」(6~8歳向け)、「原石の世界を学ぶ」(12~16歳向け)ほか全5テーマを用意。ジュエリーの奥深さと創造の喜びが実感できる(対象は6~16歳)。全5コース、各2時間 ¥2,100。また、専門家とともに、ジュエリーと宝飾の世界について様々な視点から対話をする「イブニング カンバセーション」も開催予定(全4回)。

日本特別講座に合わせて、2019年にパリのレコール本校で開催され反響を呼んだエキシビション「Birds in Paradise」が特別展示「極楽鳥」として日本で開催。約100種の鳥をモチーフとしたジュエリー、鳥の標本や学術資料、芸術作品などが展示される。

特別展示「極楽鳥」  
開催期間: ~23年5月7日(日)  
11:00~18:00(金・土曜は20:00)  
休館日: 月曜(月曜が祝日の場合は翌日休館)  
2月20~27日、その他の日は定める日  
会場: J.P.クター文化学術総合ミュージアム「インターメディアテク」3F  
入館料: 無料  
主催: 東京大学総合研究博物館、レコール ジュエリーと宝飾芸術の学校  
協力: 山鶲鳥類研究所  
協賛: ヴィン・クリーフ&アーペル  
お問い合わせ先: birdsinparadise@intermediatheque.jp

「**ヴ**アン・クリーフ&アーペル」の支援のもとに、2012年にパリのヴァンドーム広場に創設されたジュエリーと宝飾芸術の学校「レコール」。これまで選び抜かれた専門家たちによって継承されてきた宝飾の世界の魅力を、広く一般に向けた学びの場として、年齢や経験を問わず、ジュエリーに興味を持つ多くの人々に提供してきた。この世界に類を見ない教育文化機関「レコール」の特別講座が日本で開催される。プログラムはすべてパリの本校と同様で、講師陣も本校で活躍する各分野の専門家や職人が担当する。宝飾の歴史を知り、クラフツマンシップに触れる貴重な体験になるはず。

次号予告 **marie claire** 2月22日刊行です

shop list 掲載商品のお問い合わせ先

ア グランティノ インフォメンジョンズデスク tel: 03-6384-3512  
エス インターナショナル(マルメ・ショコラブリック)  
tel: 045-212-3688  
カ キャララル エ カカオ web: [www.caramel-e-t-cacao.com](http://www.caramel-e-t-cacao.com)  
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947  
クロエ カスタマーリレーションズ tel: 03-4335-1750

ゲランお客様窓口 tel: 0120-140-677  
シャネル カスタマーケア tel: 0120-525-519  
ハ バスカル・ラ・ガク東京 tel: 03-6230-9413  
ジルサンダー・ジャパン tel: 0120-919-256  
セバстиエン・ゴダール別荘窓口  
mail: contact@sebastien-gaudard.jp  
タ 帝国ホテルプラザ 東京(ガルガンチュワ) tel: 03-3539-8086

ドリス ヴァン ノッテン tel: 03-6820-8104  
ドリス ヴィントン クライアントサービス tel: 0120-00-1854  
ロエベ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116  
フランディ ジapan tel: 03-6748-6233  
マ マザーハウスお客様窓口(リトルマザーハウス) tel: 03-6240-1415  
マックスマーラ ジャパン tel: 0120-030-535  
メリーチョコレートカムバニー(セゾン セセコ) tel: 03-3763-5115

ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854  
ロエベ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116  
和光 tel: 03-3562-5010

[marieclairejapon.com](http://marieclairejapon.com)



Welcome to Our Site!

## Osaka MIDORI LIFE: Umekita 2nd Project

大阪・関西万博を見据えて  
うめきた地区で新たな街づくりが進行中  
中心になるのは約4.5haの緑の公園、そしてファッショ

2025年に大阪・関西万博の開催が予定されている大阪エリアで、現在進行中の大開発プロジェクトが「うめきた2期地区開発プロジェクト」だ。このプロジェクトは2013年に完成した「グランフロント大阪」に続くうめきた地区の大規模複合開発の第2弾。



※2022年5月時点のイメージベースであり、今後変更となる可能性があります。提供:うめきた2期開発事業者

**大** 阪駅のすぐ北にある貨物ヤード跡地約9haに、西日本最大のターミナル駅および関西国際空港接続の新駅と直結したオフィス、商業施設、ホテル、中核機能、都市公園、レジデンスが一体となつた街が生まれる。

この街づくりがほかの都市開発と大きく異なるのは敷地の半分、約4.5haを緑の公園にするという点だ。これは「みどり」と「イノベーション」の融合をテーマに豊かな未来生活を創出しようという狙いで、うめきたから世界をリードする街づくりを提案している。「みどり」の中で過ごし活動することで「QUALITY OF LIFE」(QOL)を向上させ、また「みどり」の

中での企業・研究機関等のイノベーション創出に繋げたいというものだ。

数々の世界の都市プロジェクトに携わってきたランドスケープアーキテクトGGNが、敷地全体を一体的に、かつシームレスに構想。南公園は都市的な空間、北公園は緑の多い自然豊かな空間となるとともに、最大で高さ約3mのランドフォーム(盛り土)を配置し、奥行きや立体感のある空間を創出し、利用者の体験価値を高めよう計画されている。

また市民のQOL向上、企業・研究機関等によるイノベーションの創出を後押しする新たなパブリックスペースを目指すとともに、SDGs貢献に資する先進的な環境

技術の導入や、広域避難場所として地域のレジリエンス(しなやかさ)強化を図り、サステナブルな社会の実現に尽力しようとしている。

公園としては、桜の新名所をつくり、紅葉の美しい樹木や日本で古くから親しまれている花類を演出することにより、年間を通して日本の四季の美しさを感じられる植栽計画も予定されている。

「(仮称)うめきた公園」は2024年夏頃に一部先行開園予定だが、完成後の活用に向けたトライアルとして、うめきた2期地区の隣接地に20年7月より1000日間限定の実証実験空間「うめきた外庭SQUARE」をオープン。公園を中心とした未来の



一地区やウェスト・ヴィレッジなどはたして、うめきたは新しいファッショの発信地になるのか。ニューヨークやパリでは多くの屋外ファッションショ�이開かれる。

2024年に開園予定の「(仮称)うめきた公園」が、この緑の少ない大阪の現状を大きく変え、大阪が世界の大都市に引けを取らない緑の街となり、また新しいファッショの発信地となることを期待したい。

大阪市、UR都市機構との官民連携により整備される新しい街には、これから街への多くの夢が託されている。

### 「夢を現実に」の街づくり

「みどり」のリビングラボの一環として「うめきた外庭SQUARE」で昨年12月10日に阪急電鉄(うめきた外庭SQUARE運営事務局)が「みどりとインクルーシブ」をテーマに、屋外ファッショショーン「うめきたMIDORIコレクション」を開催した。これは、プロジェクトの意図を浸透させるとともに、住民たちにもっと未来への夢を持ってほしいという思いから生まれた。

その結果、地元のデザイナーやセレクトショップ、大学、専門学校、そして障がい者関係団体も参加し、国籍や年齢、性別や障がいの有無など、多様性を受け入れたダイバーシティを体現する住民参加型のショーとなった。このメインイベントとして、古着のアップサイクルを中心とした1点物の作品が特徴の、松田直己率いるファッショブランド「nisai(ニサイ)」のファッショショーンが開催された。松田は「うめきたの開発は夢がある。その夢を共通項にコレクションを表現した」と語り、アランニットやデニムをアップサイクルしたバッチワークの

提供: うめきた外庭SQUARE運営事務局



「nisai」のコレクションでは、このショーのために制作された特別な1点1点が披露された